

町内のスーパー2店舗の マイバック持参率50% (平成18年現在)

日本では、1年間で一人当たり、約300枚のレジ袋をもらっています。重さにすると約3キロ、原油にすると約5.5リットルにもなります。原油からレジ袋を製造する過程でも二酸化炭素がたくさん排出されますから、レジ袋を減らせば、ゴミの削減だけでなく、資源の枯渇や地球温暖化の防止にもつながります。

役場では、町内のスーパー2店舗からマイバッグ持参率のデータをもらいました。50%を超えています。大手スーパーの平均は10%台ですから、遊佐町民はすばらしい持参率の高さです。当たり前のように持参するお客さんとポイントを付けるなどして削減に取り組むお店の成果ですね。

最近は、おしゃれなマイバッグや風呂敷も販売されています。自分で作るという手もあります。レジ袋をさげるより、マイバッグをさげたり、風呂敷を抱えて歩く方が素敵と思いませんか。

